



議会だより よつかいどう



発行：四街道市議会
TEL.043-421-6152

編集：広報広聴特別委員会
FAX.043-424-2016

〒284-8555 四街道市鹿渡無番地
E-mail:ygikai@city.yotsukaido.chiba.jp



四和小学校入学式
(令和5年4月11日)

主な内容

- 令和5年第1回定例会概要
..... 2～5
- 議決結果一覧 5～6
- 施政方針 7
- 一般質問・代表質問
..... 8～14
- 議会報告会 15
- 正副議長就任 16

次回の定例会は 6月5日～28日の予定です

会期日程案は16ページをご覧ください。

本会議の様子は、インターネットでもご覧になれます。
(生中継と録画中継があります)

市議会ホームページアドレス

<https://www.city.yotsukaido.chiba.jp/shigikai/>

主な議案の概要及び委員会審査概要

第1回（3月）定例会では、令和5年度一般会計・特別会計予算、専決処分承認、条例の制定及び改正などの議案33件と発議案1件の審議や議決が行われました。
主な議案と委員会での審査内容は次のとおりです。

（議決結果一覧は5～6ページに掲載）

予算審査特別委員会

議案第19号 令和5年度四街道市一般会計予算
（可決）

令和5年度四街道市一般会計予算は、全議員で構成する予算審査特別委員会を設置し審査を行った。

令和5年度一般会計予算の総額は前年度に比べ、13億円、4・1%増加し、332億6000万円となった。

質

令和5年度における市の職員、会計年度任用職員、市の施策につながる保育士の処遇改善や働き方改革は、令和5年度予算編成にどのように反映されているのか。

答

市職員の給与については、毎年度、民間給与の調査を踏まえた人事院及び県人

事委員会の給与改定に関する勧告に準じ、職員の給与改定を実施しているところであり、令和5年度についても、直近の令和4年の勧告に準じ、適正に予算措置している。

会計年度任用職員の時給については、毎年10月1日に改定される県の最低賃金を参考に、翌年度にその時給を下回らないよう、予算措置しているところである。

令和5年度当初予算編成においては、令和4年10月の最低賃金の改定に伴い、予算措置しているところであり、一例を申し上げると、一般事務の時給を27円増額したところである。

職員の働き方改革については、時間外勤務の削減や休暇の計画的な取得、育児休業等の取得の促進を図るため、定員適正化計画に基づき、職員を増員しているところであり、令和5年

度については、3人増員した予算措置した。

また、私立保育園等の保育士に対する処遇改善や働き方改革に関する予算としては、新規の事業ではないが、一定の基準を満たした保育士の加配に対して補助金を交付する保育士配置改善事業補助金、保育士1人あたり月額2万6千円を支給する保育士処遇改善事業補助金、保育士のために宿舍を借り上げる事業者に対する保育士宿舍借り上げ支援事業補助金を計上している。



質

新規事業を始める際の必要性と財源確保の考え方は。

答

市民ニーズに対応し、本市の価値を高めるために事業を検討する際は、創意工夫や新たな手法などを積極的に取り入れ、必要により新規事業を実施することとしている。

事業に伴う財源については、スクラップ・アンド・ビルドを基本としているが、その他にも、事務事業の見直しや収支改善の取り組み、国・県に限らず活用できる補助金の確保など、財源確保に努めている。



予算審査特別委員会（市議会議場）

総務常任委員会

議案第2号 四街道市個人情報保護に関する法律施行条例の制定について (可決)

個人情報の保護に関する法律の一部改正に伴い、同法の施行に関する必要な事項を定めるもの。

質 市で定める条例と個人情報保護法との関連について、詳細な説明を。

答 現在本市では、市個人情報保護条例に基づき個人情報保護制度を運用しているが、法改正に伴い、今後、条例は廃止し、個人情報保護法の適用のもと制度を運用していくこととなる。

原則として、法律の規定に基づくものだが、本条例は、開示請求にかかる手数料など細部の事項について定めるものである。

議案第3号 四街道市犯罪被害者等支援条例の制定について (可決)

犯罪被害者等が必要とする施策を総合的に推進するため、犯罪被害者等の支援に関する必要な事項を定めるもの。

質 犯罪被害者等への支援にあたっては、警察との連携を密にする必要があると考えるが、どのように調整しているか。

答 本年2月に、四街道警察署及び千葉犯罪被害者支援センターと連携協定を締結した。このことにより、犯罪や事故が発生した際には、情報共有を図ることが可能となり、犯罪被害者等への支援について迅速に対応できるものと考えている。



議案第29号 令和4年度四街道市一般会計補正予算(第10号) (可決)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ3759万円を追加し、補正後の予算総額を365億1734万2千円とするもの。

◆市議会議員補欠選挙執行管理事業

ポスター掲示場設置撤去委託料328万3千円の増額について

質

4月23日に執行が予定されている市議会議員補欠選挙候補者のポスター掲示場にかかる経費とのことだが、4月9日に執行される県議会議員選挙で使用される掲示場とは別に設置するものか。

答

設置場所の都合などから、ポスター掲示場は別々に設置することになるが、経費削減の観点から、県議会議員選挙の際に使用したポスター掲示場については、支柱を残し、市議会議員補欠選挙の際にも活用する予定である。

なお、本補正予算には反映できていないが、市内にポスター掲示場が124カ所あるところ、1カ所あたり3千円、合計37万2千円の経費削減効果を見込んでいる。

都市環境常任委員会

議案第1号 専決処分の承認を求めることについて (承認)

令和4年度四街道市一般会計補正予算(専決第4号)の専決処分の承認。

歳入歳出予算の総額にそれぞれ8000万円を追加し、補正後の予算総額を364億9917万5千円とするもの。

◆キャッシュレス決済普及促進事業

8000万円の増額について

質

令和5年2月1日から2月15日まで実施したPayPayキャンペーンにおいて予想を上回る需要があったとのことだが、経済効果は。

答

精算が完了していないため未確定ではあるが、PayPayで支払われた決済金額は約11億6000万円と把握している。

なお、市は決済金額の25%分に当たる2億7000万円強を負担する予定である。

議案第8号 四街道市自転車駐車場条例の一部を改正する条例の制定について
(可決)

使用料・手数料の見直しに関する基本方針に基づき、施設の利用料金の改定を行うため、所要の規定の整備を行うもの。

質 本市は使用料等の見直しのサイクルを基本方針に基づき、3年毎に行うとしているが、今回の改定はそのサイクルに関係なく、消費税率の引き上げに伴い改定するものか。

答 本来の見直しのサイクルでは昨年4月に料金改定を行う予定であったが、当時の悪化した経済状況を鑑み、据置きとしていたところであり、今般、市の方針として本年10月から料金を改定することとなったことから条例を改正するものである。



議案第25号 令和4年度四街道市一般会計補正予算(第9号)
(可決)

歳入歳出予算の総額からそれぞれ1942万3千円を減額し、補正後の予算総額を364億7975万2千円とするもの。

《都市環境常任委員会所管事項》
◆橋梁長寿命化修繕事業負担金
37万3千円の増額について

質 佐倉市との行政界に架かる橋の修繕に要する負担金とのことだが、詳細な説明を。

答 佐倉市との行政界に架かる大篠塚橋おしのづかばしの修繕について、佐倉市において策定された橋の補修計画に伴い、本市分の負担金を支払うものである。負担割合は、佐倉市との協定に基づき、事業費から補助金を除いた費用の2分の1の額となる。

教育民生常任委員会

議案第11号 四街道市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について
(可決)

助成対象を高校生等まで拡充するため、所要の規定の整備を行うもの。

質 現在、中学校3年生までを対象としている子ども医療費の助成対象について、本年8月から高校生相当の年齢まで拡充することだが、新たな対象となる人数は。

答 令和4年11月1日現在において、新たな対象者数は2700人と見込んでいる。



議案第14号 四街道市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
(可決)

健康保険法施行令の一部改正に伴い、出産育児一時金の支給額を引き上げるもの。

質 出産育児一時金の支給を引き上げ、また、産科医療保障制度の対象となる出産であれば、その保険契約にかかる掛金相当額を加算することだが、詳細な説明を。

答 本改正において、出産育児一時金の支給額を42万円から48万8千円へ改定する。また、加算については、現在、多くの分娩機関が加入している産科医療保障制度の掛金を対象としており、令和4年1月以降の掛金額である1万2千円とすることを規則に規定し、出産育児一時金の総支給額を50万円とするものである。

議案第25号 令和4年度四街道市一般会計補正予算(第9号) (可決)

〈教育民生常任委員会所管事項〉

◆学校衛生管理事業

学校保健用備品購入費1237万5千円の増額について

質 学校の換気対策の実施に伴う経費とのことだが、

どのようなものを購入する予定か。

また、財源について詳細な説明を。

答 購入する学校保健用備品については、現在、各校

校に対し調査を行っているところだが、本事業は国の補正予算に伴う事業であり、学校における効果的な換気対策のための事業であることから、空気清浄機やサーキュレーター等の購入を考えている。

また、財源については、事業費の2分の1が国庫補助の対象となる。

議案第30号 令和5年度四街道市一般会計補正予算(第1号) (可決)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ5億2470万3千円を

追加し、補正後の予算総額を337億8470万3千円とするもの。

◆新型コロナウイルススワクチン4回目接種等対策事業

予防接種健康被害調査委員報酬21万3千円の増額について

質 予防接種健康被害調査とはどのような調査を行う

のか。

答 予防接種健康被害調査委員会

は市長から委嘱を受けた6名の委員により構成され、新型コロナウイルススワクチン接種において、副反応等が重症化するなどの健康被害を受けた方が、健康被害救済給付の請求を行うにあたり、必要な調査を実施するものである。市は調査結果等の必要書類を揃え県に提出し、補償の決定は国において行われる。



令和5年第1回(3月)定例会 議決結果一覧

本会議と委員会のいずれにおいても、出席した全議員が賛成した議案等(委員会審査を省略した議案等を含む)

※議長は本会議の採決に、委員長は委員会の採決には加わりません

議案	第1号	専決処分の承認を求めることについて	議案	第17号	市道路線の認定について
	第3号	四街道市犯罪被害者等支援条例の制定について		第23号	令和5年度四街道市水道事業会計予算
	第6号	四街道市情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例の制定について		第25号	令和4年度四街道市一般会計補正予算(第9号)
	第7号	四街道市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について		第26号	令和4年度四街道市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
	第9号	四街道市手数料条例の一部を改正する条例の制定について		第27号	令和4年度四街道市介護保険特別会計補正予算(第4号)
	第10号	こども家庭庁設置法の施行に伴う関係条例の整理等に関する条例の制定について		第28号	令和4年度四街道市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)
	第11号	四街道市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について		第29号	令和4年度四街道市一般会計補正予算(第10号)
	第12号	四街道市こどもルーム条例の一部を改正する条例の制定について		第30号	令和5年度四街道市一般会計補正予算(第1号)
	第13号	四街道市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び四街道市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について		第31号	教育委員会教育長の任命について
	第14号	四街道市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について		第32号	監査委員の選任について
議案	第16号	四街道市立小学校及び中学校の校庭、体育館開放運営委員会設置条例の一部を改正する条例の制定について	議案	第33号	監査委員の選任について
	第1号	四街道市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について		第1号	四街道市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について

議案第21号令和5年度四街道市介護保険特別会計予算は本会議において出席した全議員が賛成しました。

本会議において賛否が分かれた議案			結果															
○：賛成 ×：反対 欠：欠席 ■ 議長は、本会議の採決には加わりません			久保田 敬次郎	本田 良	阿部 百合子	田中 徳彦	坂本 弘毅	大越 登美子	保坂 康平	西塚 義尊	関根 登志夫	戸田 由紀子	石山 健作	広瀬 義積	山本 裕嗣	高橋 絹子	長谷川 清和	清宮 一義
議案	第2号	四街道市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について	原案可決 (賛成多数)	○	×	×	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	
	第4号	四街道市職員の降給に関する条例の制定について	原案可決 (賛成多数)	×	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	
	第5号	使用料及び手数料の改定に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決 (賛成多数)	○	×	×	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	
	第8号	四街道市営自転車駐車場条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 (賛成多数)	○	×	×	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	
	第15号	四街道市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 (賛成多数)	○	×	×	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	
	第18号	市道路線の廃止について	原案可決 (賛成多数)	○	○	×	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	
	第19号	令和5年度四街道市一般会計予算	原案可決 (賛成多数)	○	×	×	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	
	第20号	令和5年度四街道市国民健康保険特別会計予算	原案可決 (賛成多数)	○	×	×	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	
	第22号	令和5年度四街道市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決 (賛成多数)	○	×	×	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	
	第24号	令和5年度四街道市下水道事業会計予算	原案可決 (賛成多数)	○	×	×	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	

委員会において賛否が分かれた議案			付託委員会結果																
○：賛成 ×：反対 欠：欠席 ■ 委員長は、委員会の採決には加わりません			久保田 敬次郎	本田 良	阿部 百合子	田中 徳彦	坂本 弘毅	成田 芳律	大越 登美子	保坂 康平	西塚 義尊	関根 登志夫	戸田 由紀子	石山 健作	広瀬 義積	山本 裕嗣	高橋 絹子	長谷川 清和	清宮 一義
議案	第4号	四街道市職員の降給に関する条例の制定について	総務 原案可決 (賛成多数)	×	—	—	—	○	○	—	—	○	—	—	—	○	—	—	—
	第15号	四街道市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	教育民生 原案可決 (賛成多数)	—	—	×	—	—	—	○	○	—	—	○	○	—	—	—	—
	第19号	令和5年度四街道市一般会計予算	予算審査 原案可決 (賛成多数)	○	×	×	欠	○	○	○	—	—	○	○	○	○	○	○	○
	第20号	令和5年度四街道市国民健康保険特別会計予算	教育民生 原案可決 (賛成多数)	—	—	×	—	—	—	○	○	—	—	○	○	—	—	—	—
	第21号	令和5年度四街道市介護保険特別会計予算	教育民生 原案可決 (賛成多数)	—	—	○	—	—	—	○	○	—	—	○	×	○	—	—	—
	第22号	令和5年度四街道市後期高齢者医療特別会計予算	教育民生 原案可決 (賛成多数)	—	—	×	—	—	—	○	○	—	—	○	○	—	—	—	—

☐ 議員辞職により審査には加わりません

市長の「施政方針」から



【重要項目】

子育て支援については、安心して子どもを産み育てていただく環境を更に充実させるため、子ども医療費助成制度において、対象年齢を18歳まで拡大するための準備を進めてまいります。

市庁舎整備については、市民の安全・安心な暮らしを支える防災拠点となる庁舎の整備に向け、第1期工事として、市役所北側に新築棟の建設工事に着手するなど、7年度の事業完了を目指し、整備を進めてまいります。

次期ごみ処理施設については、早期の施設整備に向けて概算事業費や整備期間、実現の可能性などを比較検討し、それらを基に整備手法の方向性を定めてまいります。

自転車活用の推進に向けた新たな取り組みについては、安全で快適な自転車通行空間を効率的・効果的に整備することを目的とした「(仮称)四街道市自転車ネットワーク計画」の策定を進めてまいります。

産業については、企業立地促進事業補助制度を創設するとともに、産業振興課内に「(仮称)企業立地・農商工連携推進室」を設置するなど、組織体制の強化を図り、企業立地の促進に努めてまいります。また、企業からの相談に迅速な対応ができるよう、ワンストップサービスの構築に向けた調査・研究を進めるほか、市内企業への個別訪問を行うなど、企業の定着につながるよう連携強化にも取り組んでまいります。

四街道の未来を担う中学生から「理想のまち」をテーマとした作文を募集し、ふるさと四街道について考えるきっかけを作る取り組みを進めてまいります。

以上は、施政方針説明において、「重要項目」として述べられたものです。

※施政方針：市長が市政運営の基本方針と主要施策について述べるもの。



一般質問・代表質問

第1回（3月）定例会では3月8日～10日の3日間、6会派による代表質問及び1人の議員による一般質問が行われました。

詳しくは、市立図書館、市役所本館2階の情報公開室に設置の会議録、または市議会ホームページの会議録検索（第1回定例会分は5月下旬公開予定）でご覧いただけます。



次期ごみ処理施設について

問 次期ごみ処理施設整備事業の進捗状況について伺う。

答 整備に要する期間や、概算事業費とそれに伴う財政負担、実現性などの視点から検討を進め、3つのパターンに絞り込み、中間報告を取りまとめた。今後は、更なる情報の整理補充を進め、総合的な評価を行い、なるべく早期に最終的な方針を決定していく予定である。

また、どのパターンでも、吉岡地区でごみ処理に関する施設を建設する必要があると判断し、汚染土対策の早期開始を目指し、土壌汚染対策法等に基づく、土壌等調査の令和5年度実施を予定している。



「明日がある。」

無会派 久保田 敬次郎

みそら団地歩道橋について

問 トラックが歩道橋にぶつかり通行止めになっているが、復旧について今後の見通しを伺う。

答 原因者と協議を行ったところ、復旧を道路管理者である市が実施し、復旧費用を原因者が負担するという回答があったことから、今後、早急に詳細な調査や設計を行う。

なお、復旧時期は未定だが、極力早期に開通できるように進めたいと考えている。

御神木公園歩道について

問 歩道の修繕工事の見通しについて伺う。

答 通称、御神木公園であるみそら第8公園の歩道については、損傷の激しい箇所より順次、修繕工事を実施していく。



子育て、健康、市民サービスの向上に向けて

代表質問者 高橋 絹子

公明党

田中 徳彦・西塚 義尊
高橋 絹子

出生率向上のために

問

昨年子供の出生数が80万人を割り、全国で子育て支援に乗り出している。そこで本市の出生率とその向上のための課題について伺う。

答

県の統計によると、平成30年1・47、令和元年1・49、そして令和2年1・50と上昇しており、令和3年においては、県内4位の1・43となっている。本市では、子ども医療費の無償化や、待機児童ゼロを目指した保育施設の整備、産後ケアの充実など、各種子育て支援の充実に取り組んでいる。今後、子どもを産み育てていただく環境の更なる充実のため、市民のニーズを的確に把握し、施策につなげていきたいと考えている。

ボランティアポイント制度の導入

問

介護予防の取り組みと介護サービスの担い手の裾野を広げる手立てとして「ボランティアポイント制度」が注目を集めているが、本市の導入の検討状況はいかがか。

答

高齢者がボランティア活動により、社会貢献することを奨励、支援し、社会参加を通して自身の介護予防を目指すことは重要であると考えている。新型コロナウイルス感染症拡大以降は、ボランティアの受け入れ施設の確保が難しい状況が続いていたが、今後は、受け入れ再開も見込めることから、高齢者のボランティア活動をこれまで以上に推進する観点から、ボランティアポイント制度導入も視野に近隣市の運営方法などを研究していく。



男性への子宮頸がん

ワクチン接種助成

問

令和5年4月より、いすみ市では男性へのワクチン接種助成を始めるとのことだが、本市でも取り組んではいかがか。

答

子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルスは、男性の発がんにも関係し、男性を対象にしたワクチンが薬事承認されている。また、性交渉で感染を引き起こすため、パートナーを感染から守る効果もある。

定期接種化について、国の審議会で今後の検討事項として言及があったので、動向を注視していく。



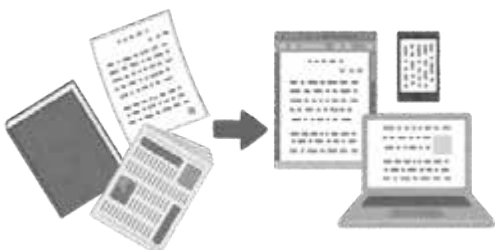
「書かない窓口」の推進

問

デジタル化のメリットを実感できる取り組みとして市民が窓口で「書かない、待たない、回らない」で済む「書かない窓口」の推進を国は進めているが本市の推進状況はいかがか。

答

現在、本市においては、「書かない窓口」とはなっていないが、今後は、「書かない窓口」のほか、行政手続きのオンライン化の拡充などによる「行かない窓口」も含め、情報化推進計画に基づき、市民が行政サービスの利便性向上を実感できるよう各取り組みを推進する。





市民生活の向上のために

代表質問者 石山 健作

四街道

石山 健作・清宮 一義

令和5年度予算編成について

問

予算編成における特筆すべき点は何か伺う。

答

総合計画後期基本計画に位置づけた事業の達成に向け、的確に予算へ反映し、積極的かつ着実に推進していく。

また、市長が就任以来行ってきた「対話」を通じて、必要と感じた課題について職員と共有している。それらを含め、主な新規・拡充事業として、市庁舎整備、子ども医療費助成制度を18歳まで拡大、第3子以降学校給食費全額補助、医療的ケア児への支援、市民後見人育成の促進、自転車ネットワーク計画策定など、5年度に取り組んでいくものである。



庁舎建設について

問

庁舎敷地内でも工事が始まったが、改めて今後のスケジュールを伺う。

答

市役所北側に新築棟を建設する第1期工事は、6年6月末までを工事期間として、現在、既存倉庫の解体工事やインフラ設備の切り直し工事などを実施している。

その後、第2期工事として、本館の解体、新館の減築、大規模改修などを実施し、7年度の完了を予定している。

市内インフラ対策について

問

大日東西通り付近の同一箇所において、3年で4回の事故が起きている信号のない交差点がある。当該箇所に対する市の認識と今後の対応を伺う。

答

当該交差点は、県警察本部交通規制課と四街道警察署交通課、市が合同で点検を実施しており、見通しが悪い危険な交差点であることは認識している。現在、交差点部のカラー舗装やカーブミラー、注意喚起看板は既に設置している。今後の対応は、一時停止の交通規制の実施に向け、県警察本部をはじめとする関係機関へ働きかけしていく。



住みよさ増進策について

問

市内商工業の活性化について、現状をどう捉え、どう改善を図るか伺う。

答

中小事業者の高齢化による後継者問題や販路拡大の取り組みなどの問題があるほか、新型コロナウイルス感染症や、原油・原材料の高騰による影響もあるものと認識している。

また、商工業の活性化への対応については、市と商工会、商店会が連携して中心市街地の賑わいを創出するために行うイベントや啓発事業などを実施するとともに、経営の改善等の相談について、商工会と協力しながら、事業者に寄り添った支援策を検討、実施する。





子どもたちの未来のために

代表質問者 保坂 康平

れいわ輝

坂本 弘毅・保坂 康平

行政改革

問 公共施設再配置計画の進捗状況について伺う。

答 公共施設再配置計画において、施設の方向性が「検討」の位置づけの23施設のうち、小学校12校、中学校5校については、市立小中学校適正規模・配置検討委員会を設置し、また、共同調理場2施設については、市学校給食運営委員会の中で、公共施設保有量の縮減に向け、議論を行っている状況である。



教育環境の整備

問 更なる子育て施策の検討状況を伺う。

答 子育て世帯の経済的な負担軽減を図るため、中学校3年生までを対象に医療費助成を実施しているが、本年8月診療分から助成の対象を高校3年生等まで拡充したいと考えている。



説明責任

問 事業をめぐる外的条件、リスク、デメリットについて詳しく説明する必要性をどう考えるか。

答 事業をめぐるリスクやデメリットの説明は、事業説明に当たって不可分のものと考えている。

今後とも、説明内容については、議員の皆様のご意見をいただきながら、メリット・デメリットともに、わかりやすくお伝えするよう説明責任を果たしてまいります。



ヤード問題

問 悪質なヤード事業者に逆恨みされることを恐れて、通報をためらう市民のための配慮はされているか。

答 状況に応じて匿名性を確保するとともに、ヤードへの立入調査を実施する際には、通報日とは別の日にする等、通報者の特定につながらないよう細心の注意をはらっている。





自治体の役割を發揮し、やさしい温かい街に

代表質問者 阿部 百合子

日本共産党

本田 良・阿部 百合子

新型コロナウイルスについて今後の対策

問

新型コロナウイルス感染症が、5月連休明けから5類に下がることでの影響と、今後の市の対応はどのようになるのか。

答

新型コロナウイルスの位置づけが5類となると、陽性者の発生届や都道府県が実施している感染不安時のPCR検査事業も終了となる。今後の入院や外来の取り扱いなどの医療提供体制、医療費の公費負担については、段階的に移行することとなっている。

今後、国や県の方針が示され次第、ホームページでお伝えするなどの対応を適切に行いたいと考えている。

子育てしやすい街をめざして

問

学校給食費の無償化について、検討状況をお聞きする。

答

学校給食費の無償化については、多子世帯への支援のため、令和5年4月からの実施に向けて準備を行っているところである。

県と連携し、市立小中学校を利用する第3子以降の児童生徒に係る学校給食を対象とし、対応していく。



災害対策について

問

避難所のダンボールベッドについて、その効用と課題についてお聞きする。

答

一般的には、効用として、足腰への負担を減らすことでエコノミークラス症候群を予防し、また、ほこりやウイルスを吸い込むリスクが少なく、感染対策にも有効であり、更に段ボールは空気の層があるため暖かいとも言われている。

課題としては、保管時に置いて大きなスペースを必要とすること、湿気に弱いため劣化しやすいことなど、長期の保管が難しいことである。

現状、主に避難生活において配慮を要する高齢者や障害者の使用を想定したスチール製の簡易ベッドを合計810台備蓄している。



マイナンバーカードについて

問

マイナンバーカードを作るのは、任意とされているが、カードを作らない市民にどのような影響があるか、市の事務の範囲でお聞きする。

答

マイナンバーカードを作らない影響として、住民票の写しなどの公的証明書のコンビニ交付、住民票の異動を行う引越しワンストップサービス、確定申告に関する手続きなど、これまでどおり紙による申請は行えるものの、より利便性の高いオンライン手続きが行えない点が影響として考えられる。





誰もが安心して暮らせるまちをめざして

代表質問者 戸田 由紀子

新

戸田 由紀子・長谷川 清和

モデル事業を実施した災害時の避難行動要支援者個別避難計画の策定について

問

モデル事業を実施した効果と課題は何か伺う。また、策定した支援計画に基づいた避難訓練を実施することはいかがか。

答

モデル事業の効果と課題については、事業に協力いただいた関係者からの意見聴取結果などを基に福祉サービス部内で総括を行い、明らかにしていく。また、避難支援を提供するための訓練については、自治会とその必要性について共有できたため、今後、区・自治会が訓練を実施する際に、福祉的な視点に基づく協力を積極的に行っていく。

「子ども家庭庁」の発足と

本市の子ども支援

問

地方自治体へ求められる役割は何か。また、子どもの貧困対策への進展はあるのか。

答

国において子ども子育て施策の司令塔が一本化されたことから、これまで以上に国と連携を密にしながら、各種の子ども子育て施策を充実させていきたいと考えている。

今後、国において、子ども施策に関する基本的な方針、重要事項等を定める「子ども大綱」が策定される予定であり、その内容を踏まえ、国の共通調査項目を基に貧困実態調査を実施していきたいと考えている。



先生方の負担軽減にむけて

問

市内の先生方の平均残業時間及び専科の先生の配置状況について伺う。

答

令和4年11月に行われた、県教育委員会の調査では、市内教職員の時間外在校等時間の平均が、小学校で50時間35分、中学校で60時間35分であった。小学校では、学級担任以外の増置教員が学校の実態に応じて理科、音楽、家庭科等を指導している。

また、英語専科加配教員として3名が8校で指導している。

核兵器廃絶平和都市宣言

40周年の記念事業について

問

節目の年に相応しい記念事業について、どのように考えているのか伺う。

答

これまで「宣言」の節目の年は、市民団体の事業を共催という形で実施しており、来年度も同様に共催する予定である。事業内容は、今後、関係団体と協議しながら決定する。

また、毎年度、夏季に実施している「広島・長崎原爆写真資料のパネル展示」について、市役所ロビーでの実施に加え、その他の公共施設でも巡回展示を行うことを予定しており、市民の平和意識のより一層の高揚を図っていきたい。





全国平均を下回る介護医療

代表質問者 広瀬 義積

立憲

大越登美子・広瀬 義積

ごみ処理施設建設計画とSDGs or 3R

問

今後のごみ処理にあたっては、ごみの減量化や再資源化、再利用が望まれる。ごみ処理に係る計画の見直しと、今後の対策についての考えを聞く。

答

次期ごみ処理施設の最終的な方向性が定まった段階において、ごみの分別や処理方法、収集運搬などに変更が生じる場合には、市一般廃棄物処理基本計画の見直しが必要と考える。また、紙ごみや食品残渣、不燃ごみとして排出される製品プラスチックなどの資源化を進めることで、ごみの更なる減量化に向けて、できることから始めていく。

問

次期ごみ処理施設用地に過剰な汚染土が埋め立てられ、その除去や処理で約42億円かかる。この事件の内部調査の進捗状況と今後の対応は。

答

関係する職員等への聞き取りから得られた証言を基に検証を行い、浮かび上がった課題に対して、市として今後取り組むべき再発防止策を検討し、「次期ごみ処理施設等用地問題に関する調査報告及び再発防止策」として取りまとめた。今後は、この再発防止策について、全庁を挙げて徹底していく。



超高齢化にもなう対策の強化を

問

市の医療機関・介護施設数及び従事者数は、全国平均を下回っている。改善のための施策は。

答

医療提供体制については、県保健医療計画に基づき、県が医師数の増加、医師の働き方改革の推進、医療機器共同利用の促進等、超高齢社会に対応した体制確保に力を入れている。市は国・県の動向を注視し、市民の皆様の適切な医療受診の理解促進に努める。

介護施設は、利用者のニーズを踏まえて策定する高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画に基づいて、整備を進めていく。



問

「2025年問題」及び「2040年問題」への対策は。

答

2025年には全ての団塊の世代が後期高齢者となるため、これまでに以上に健康寿命の延伸に取り組む必要がある。そのため、今年度、民間研究機関と連携して実施した「健康とくらしの調査」の結果を分析し、地域の実情に即した効果的な介護予防事業を展開していく。

また、本市が持つ多様な資源を活用しつつ、医療、介護、予防、住まい、生活支援が包括的に確保される体制の構築を推進していく。

更に、2040年を展望すると、社会参加の環境整備などを推進し、誰もがより長く元気に活躍できる社会を実現していくことが重要と考える。



議会報告会

民生委員全体研修会及び 四街道市議会との意見交換会

第11回目となる議会報告会を令和5年2月8日に四街道市文化センターで開催しました。

初めに、午前10時から民生委員全体研修会が大ホールで行われ、市議会議員全員が参加しました。



民生委員全体研修会の様子



研修会は研修テーマに沿って行われ、四街道市の福祉の現状について、和田浩史福祉サービス部長より、直近の状況を踏まえたご講演がありました。

その後、会館棟各会議室において共通テーマとして設定した民生委員の日常活動を通じて感じる地域の現状について意見交換会（議会報告会）を民生委員地区区分の6グループに分かれて行いました。意見交換会にて民生委員の皆様より忌憚のない大変貴重なご意見を賜りましたこと改めて感謝申し上げます。

広報広聴特別委員会では、平成26年から計10回にわたり市民の皆様方と議会報告会を行ってまいりました。開催にあたっては、回を重ねる中で開催方法や内容について課題もあり、今回、初の試みとして民生委員の皆様と意見交換を主とした議会報告会を実施させていただきました。この様な新しい形の取り組みを次につなげられるよう今後も委員一同考えてまいります。

（委員長 大越 登美子記）



意見交換会の様子

議長に 清宮一義 議員
副議長に 坂本弘毅 議員
が就任

3月定例会の初日に、議長・副議長選挙が行われ、議長に清宮一義議員、副議長に坂本弘毅議員が就任しました。



せいみや かずよし 議長
清宮 一義

就任にあたって

市民の皆様には、日頃より議会活動に対しまして、深いご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

私たちは、去る3月定例会において、議員各位のご推挙により、議長並びに副議長の職を担うことになりました。

現在、本市では少子高齢化や地域活性化などの対策に加え、次期ごみ処理施設建設や都市計画道路整備など、様々な重要課題を抱えております。

市民の皆様に住んでよかったと実感いただける魅力あるまちづくりのために、行政と議会が



さかもと こうき 副議長
坂本 弘毅

共に協力し、知恵を出し合い、迅速かつ的確な施策を進めていくことが大切であると考えております。

市議会といたしましては、市民の代表としてその負託と信頼にこたえ、議員相互の自由闊達な議論を展開し、四街道市の発展のために最善を尽くす所存でございます。

結びに、市民の皆様のお一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。



6月定例会
会期日程案のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
6/4	5 本会議 開会	6	7	8	9 本会議 議案審議	10
11	12 都市環境 常任委員会	13 教育民生 常任委員会	14 総務 常任委員会	15 本会議 一般質問	16 本会議	17
18	19 本会議 一般質問	20 本会議	21 本会議	22 本会議	23 本会議	24
25	26	27	28 本会議 閉会 議案総括審議	29	30	7/1

本会議の開会は午後1時(予定)です。傍聴は開会30分前から受付をしています。
※会期日程等は変更になる場合がありますので、市議会ホームページをご覧ください。
だくが議会議務局までお問い合わせください。

TEL 043-421-6152 (直)

編集後記

春4月、子どもたちは希望と不安を胸にそれぞれの新しい生活をスタートさせたことでしょう。

令和5年4月にこども家庭庁が発足し、同時にこども基本法が施行されました。国や自治体は地域における子どもの状況に応じた施策を策定・実施する責務が課せられます。

た。こどもの最善の利益を第一に考え、こどもの意見を政策に反映するなど『こどもみんなが社会』の実現を目指しています。

子どもたちが未来に希望が持てる社会が当たり前になるようこれからの取り組みを注視しつつ、期待したいと思えます。

(戸田 由紀子記)